

# 核抑止論通用せず

## 条約会議 各国次々訴え

述べました。「新たな道を示しているのが禁止条約であり、その力を信頼している」と語り、核兵器廃棄の道筋や被害者援助など条約の具体化を進めようと訴えました。

ニュージージーランドのトワイフォード軍縮・軍備管理相は「ロシアのプーチン大統領の威嚇は核兵器による破滅の瀬戸際に私たちを追いやっている」と批判。

「私たちは人類と法の支配を守らねばならない。核兵器禁止条約はその方向に向けた重要な一歩だ」と語り、署名・批准国を増やすことを呼び掛けました。

【ウィーン＝島田峰隆】オーストリアの首都ウィーンで21日に開幕した核兵器禁止条約第1回締約国会議で、各国による発言が始まりました。多くの国が、ウクライナ侵略を続けるロシアによる核兵器使用の威嚇を念頭に、核抑止力論は通用

用しないと強調し、核兵器禁止条約の実践にこそ危機打開の道があると訴えています。 ↓関連⑩⑪面

20日に締約国になったばかりの東ティモールのマンノ外相は「核保有国による最近の核の脅しが地域の緊張を高めている。このこと

は、私たちがいかにもろい安全保障環境の中で暮らしているかを示した」と指摘しました。「核使用の威嚇は他の国が抑止を理由に核兵器を持つことを正当化することになる」と批判。東ティモールは核軍縮に向けた外交的努力を強めると強

調し、禁止条約に未参加の国々に署名や批准を呼び掛けました。 オーストリアのシャレンベルク外相は「核兵器が安全を保障するという論理は基本的に誤っている。抑止とは核兵器を実際に使う準備があるということだ」と

# 核禁条約会議 市民らアピール

## 核絶対悪の声 世界に

### 平和首長会議がイベント



平和首長会議に賛同した参加者ら。21日、ウィーン(撮影:白田勝彦)

【ウィーン】平和首長会議は21日、ウィーンで開かれた。平和首長会議は、若者を含めた核廃絶運動の推進を図っています。核兵器廃絶国際キャンペーン(I CAN)、ノルウェーのマヤ・トンプソンさんは、政府に条約署名を迫る運動が地域で活性化していることを強調。

【ウィーン】平和首長会議は、核兵器廃絶国際キャンペーン(I CAN)の代表として、ノルウェーのマヤ・トンプソンさんが、政府に条約署名を迫る運動が地域で活性化していることを強調。広島市長の松井一実・広島市長は核兵器を「絶対悪」とする市民社会の声を世界に届けるため、ともに声をあげると強調。「すべての市民が平和に暮らせる社会の構築が私たちの最優先課題だ」と述べ、「核兵器による被害を防ぐための外交を強化することが各国政府の役割だ」と述べた。

【ウィーン】平和首長会議は、核兵器廃絶国際キャンペーン(I CAN)の代表として、ノルウェーのマヤ・トンプソンさんが、政府に条約署名を迫る運動が地域で活性化していることを強調。広島市長の松井一実・広島市長は核兵器を「絶対悪」とする市民社会の声を世界に届けるため、ともに声をあげると強調。「すべての市民が平和に暮らせる社会の構築が私たちの最優先課題だ」と述べ、「核兵器による被害を防ぐための外交を強化することが各国政府の役割だ」と述べた。

## 日本の不参加「残念」

### 広島・長崎の市長が会見



【ウィーン】平和首長会議。広島市長の松井一実(左)と、長崎市長の田上晋久(右)が記者団の取材に応じる。田上市長は「核兵器廃絶を推進する」と述べ、松井市長は「核兵器を絶対悪と見做す」と述べた。

【ウィーン】平和首長会議は、核兵器廃絶国際キャンペーン(I CAN)の代表として、ノルウェーのマヤ・トンプソンさんが、政府に条約署名を迫る運動が地域で活性化していることを強調。広島市長の松井一実・広島市長は核兵器を「絶対悪」とする市民社会の声を世界に届けるため、ともに声をあげると強調。「すべての市民が平和に暮らせる社会の構築が私たちの最優先課題だ」と述べ、「核兵器による被害を防ぐための外交を強化することが各国政府の役割だ」と述べた。

## 「訴え広げ続けて」

### 原水協・被団協・笠井氏懇談

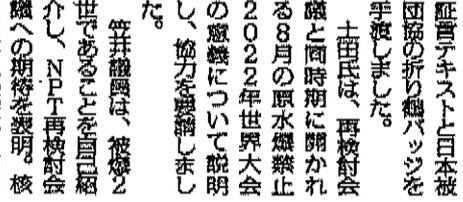


【ウィーン】加来東子(左)と原水協事務局長の土田弥生(右)が懇談している。加来氏は「核兵器廃絶を推進する」と述べ、土田氏は「核兵器を絶対悪と見做す」と述べた。

【ウィーン】加来東子(左)と原水協事務局長の土田弥生(右)が懇談している。加来氏は「核兵器廃絶を推進する」と述べ、土田氏は「核兵器を絶対悪と見做す」と述べた。

## マレーシア国連大使が主張

### 「訴え広げ続けて」



【ウィーン】マレーシア国連大使のモハマド・ハスリン氏(左)が記者団の取材に応じる。氏は「核兵器廃絶を推進する」と述べた。

【ウィーン】マレーシア国連大使のモハマド・ハスリン氏(左)が記者団の取材に応じる。氏は「核兵器廃絶を推進する」と述べた。

【ウィーン】平和首長会議は、核兵器廃絶国際キャンペーン(I CAN)の代表として、ノルウェーのマヤ・トンプソンさんが、政府に条約署名を迫る運動が地域で活性化していることを強調。広島市長の松井一実・広島市長は核兵器を「絶対悪」とする市民社会の声を世界に届けるため、ともに声をあげると強調。「すべての市民が平和に暮らせる社会の構築が私たちの最優先課題だ」と述べ、「核兵器による被害を防ぐための外交を強化することが各国政府の役割だ」と述べた。

【ウィーン】平和首長会議は、核兵器廃絶国際キャンペーン(I CAN)の代表として、ノルウェーのマヤ・トンプソンさんが、政府に条約署名を迫る運動が地域で活性化していることを強調。広島市長の松井一実・広島市長は核兵器を「絶対悪」とする市民社会の声を世界に届けるため、ともに声をあげると強調。「すべての市民が平和に暮らせる社会の構築が私たちの最優先課題だ」と述べ、「核兵器による被害を防ぐための外交を強化することが各国政府の役割だ」と述べた。

【ウィーン】平和首長会議は、核兵器廃絶国際キャンペーン(I CAN)の代表として、ノルウェーのマヤ・トンプソンさんが、政府に条約署名を迫る運動が地域で活性化していることを強調。広島市長の松井一実・広島市長は核兵器を「絶対悪」とする市民社会の声を世界に届けるため、ともに声をあげると強調。「すべての市民が平和に暮らせる社会の構築が私たちの最優先課題だ」と述べ、「核兵器による被害を防ぐための外交を強化することが各国政府の役割だ」と述べた。

【ウィーン】平和首長会議は、核兵器廃絶国際キャンペーン(I CAN)の代表として、ノルウェーのマヤ・トンプソンさんが、政府に条約署名を迫る運動が地域で活性化していることを強調。広島市長の松井一実・広島市長は核兵器を「絶対悪」とする市民社会の声を世界に届けるため、ともに声をあげると強調。「すべての市民が平和に暮らせる社会の構築が私たちの最優先課題だ」と述べ、「核兵器による被害を防ぐための外交を強化することが各国政府の役割だ」と述べた。